

1 題材について

対 象 学 年	小学校 第6学年
学 習 指 導 要 領	第5学年及び第6学年の内容 A表現(2)ア (3)ア (4)イ B鑑賞(1)イ
題 材 名	「曲の気分をとらえて」(全10時間) 【教材名】 表現教材：「星空はいつも」「銀河鉄道の歌」 鑑賞教材：管弦楽組曲「惑星」から「木星」
題 材 目 標	歌詞の情景や楽曲の構成を理解するとともに表現への願いをもち、これまでの音楽づくりの経験を創造的にかかわらせながら、旋律の反復や変化・対照、調性などを生かして、表現を工夫したり味わったりすることができる。
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 題材指導計画作成上の工夫（教材選択、教材配列、教材の時間配分等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科教材の「やまなし」や「イーハトーヴの夢」で学習した宮沢賢治が理想として訴えた動植物と共生する温かい世界を、『銀河鉄道の歌』を核に広げる。一人一人が自分の情景をイメージしながら歌ったり演奏したりすることができるよう、国語の授業で紹介しあった宮沢賢治の物語の中で、心に残った部分を音楽で表現する活動を取り入れる。 ・前題材までに学習した強弱・速さ・抑揚・調性・音色などの音楽の諸要素を足場として、拡大楽譜や学習プリントなどへの書き込みを振り返りながら、新しい教材にも意欲的に取り組めるようにする。自分の願う音楽表現を伝えるための曲想表現を工夫する発展的な題材として位置付ける。 <p>単位時間における工夫（音楽活動の基礎的な能力を培う指導・援助等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音に対する一人一人のイメージや思いを表現に生かすことができるよう、一人一人が音づくりをしたり楽器などを選んだりする時間を十分に確保する。 ・自分たちで音楽表現を高めていく楽しさを味わうことができるよう、自分のイメージしている願いと音楽が合っているかどうかを仲間同士で確かめたり、他の表現方法を参考にしたりする交流の場を位置付ける。また、前題材までに学習した音楽の諸要素の生かし方に、常に目をむけて表現を確かめていくよう、フラッシュカードなどで呼びかける。
参 考 資 料	資料1：第4時から第7時にかけて即興的な音楽作りの計画を立てたり互いに聴きあったりする時に記入する学習プリント

2 題材の評価規準

	ア 音楽への関心 ・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表 現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能 力
歌唱		.		
器楽	.		.	
創作				
鑑賞	.			
内容の ごま との ま評 り価 規 準	<p>【歌唱】 創造的に歌唱表現にかかわり、歌唱活動への意欲を高めるとともに、その経験を生活に生かそうとする。</p> <p>【創作】 創造的に音楽づくりにかかわり、音楽をつくって表現する活動への意欲を高めるとともに、その経験を生活に生かそうとする。</p>	<p>【器楽】 旋律楽器及び打楽器の演奏、簡単な重奏や合奏などによる器楽表現及び楽器の音色のよさや美しさを感じ取るとともに、楽曲の構成を理解して表現を工夫し、拍の流れやフレーズ、音の重なりや和声の響きなどを感じ取り、それらを生かした器楽表現の仕方を工夫したり、身体表現をしたりしている。</p> <p>【創作】 様々なリズムや旋律、曲の構成のおもしろさ、いろいろな声や音の響きのよさや美しさを感じ取るとともに、音楽表現のイメージを膨らませ、それらを生かした音楽づくりの仕方を工夫している。</p> <p>【鑑賞】 いろいろな種類の音楽やいろいろな演奏形態による音楽を聴いて、楽曲全体の構成に注目したり、様々な楽器や声の重なりによる響きの特徴を感じ取ったりするなど、そのよさや美しさを感じ取るとともに、音楽表現のよさや工夫に気づき、それらを生かした鑑賞の仕方を工夫している。</p>	<p>【歌唱】 範唱や範奏を聴いたり楽譜を見たりして歌うとともに、八長調及びイ短調の旋律を視唱している。また、呼吸及び発音の仕方を工夫して、豊かな響きのあふ自然で無理のない声で歌っている。</p> <p>【創作】 曲の構成を工夫し、簡単なリズムや旋律をつくって表現するとともに、自由な発想を生かして表現し、いろいろな音楽表現を楽しむなど、工夫して音楽をつくっている。</p>	<p>【鑑賞】 主な旋律の変化や対照、楽曲全体の構成、音楽の特徴付けている要素と曲想とのかかわりに気を付けるとともに、楽器の音色及び人の声の特徴、それらの音や声の重なりによる響きを味わいながら、曲想を全体的に味わって聴く。</p>

<p>題材の評価規準</p>	<p>自分自身の感じ方や考え方をしっかりともち、これまでの音楽づくりの経験を歌唱、器楽、鑑賞の活動に創造的に生かそうとしている。</p>	<p>仲間と表現を互いに聴き合って、そのよさや美しさを発見したり、様々な旋律の変化や和声の響き、曲の構成のおもしろさを生かした表現の仕方を工夫したりしている。</p>	<p>呼吸や発音の仕方を工夫して、豊かな響きのある声で歌ったり、自由な発想で音を選び、自然や情景、人の気持ちや心の変化・様子などを、音の響きや旋律の変化・対照、調性などを生かして表現したりしている。</p>	<p>多様な演奏形態の音楽に親しみ、主な旋律の反復や変化・対照、さらに旋律と旋律とのかかわり合いの美しさなどを感じ取って聴いている。</p>
<p>単位時間における具体の評価規準</p>	<p>1番の「見上げれば「青くはるか」という言葉と2番の「星めぐり」「窓のそばに」という言葉の違いに目をむけ、見上げている感じと目の前の美しさ感動している表情を意識しながら歌っている。(創作)</p> <p>前半部分の歌詞の情景にこだわり、神秘的な表現につながる歌い方を【速さ・抑揚】【強弱】【フレーズ・プレスのつなぎ方】【言葉の発音・声の響き】にこだわって意欲的に練習し、跳躍した音の母音を柔らかな響きで気持ちよく歌っている。(歌唱)</p>	<p>2・4フレーズの快いと感じる拍の流れや強弱、速度をいろいろと試しながら、曲想に合った演奏を工夫している。(器楽)</p> <p>主な旋律を口づさみながら、旋律の変化や重なりを聴き、旋律がだんだん高くなっていく広がりや長調の明るい響きを感じ取り、壮大な雰囲気想像することができる。(鑑賞)</p> <p>自分のイメージを具体的に語り、いろいろな音作りを積極的に試しながら、音楽の可能性に気付いている。(創作)</p>	<p>拍の流れやフレーズ、音の重なりや和声の響きなどを感じ取り、3フレーズ目の三声のか合いを軽やかに表現している。(歌唱)</p> <p>演奏の出だしと終わりを合わせるために、イメージする音楽に合う息遣いでタイミングを取り、音に集中して演奏している。(創作)</p> <p>歌詞の情景にこだわり、神秘的な表現につながる歌い方を【速さ・抑揚】【強弱】【フレーズ・プレスのつなぎ方】【言葉の発音】のどれかにこだわって工夫し、4フレーズ目から5フレーズ目を大きなフレーズとして感じ取り、アウフタクトの言葉を丁寧に歌っている。(歌唱)</p>	<p>イメージする物語の情景を具体的にもち、旋律の動きやリズム・旋律・強弱・音色・和声・調性、そして音の組み合わせといった要素にこだわって聴いている。(鑑賞)</p> <p>合唱奏・斉唱・小アンサンブルなどのいろいろな演奏形態の音楽を楽しみながら演奏し、旋律の反復や変化・対照、調性などを感じ取って聴いている。(鑑賞)</p>

3 指導と評価の計画 (全10時間)

時	教材	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助
1	星空はいつも	『星空はいつも』の3フレーズ目の休符と三声の音の響きを感じ取って、曲の山を表現することができる。	<p>範唱 CD を聴き、音の重なりやリズムの変化・伴奏などを手がかりに、曲の山を見付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>3フレーズ目の曲の山を三部合唱奏で盛り上げ、軽やかに語りかけるように表現しよう。</p> </div> <p>それぞれの旋律を演奏し、三部合唱奏をする。合唱とリコーダーのかけ合いを意識し合って演奏をする。半分に分かれて、聴き合う。</p>	ウ - 拍の流れやフレーズ、音の重なりや和声の響きなどを感じ取り、3フレーズ目の三声のかけ合いを軽やかに表現している。	観察 ・相手のパートの人とペアを組み、音の出だしを意識しながら演奏しているかどうかを表情や体の動きから評価する。	リコーダーを使わず、旋律を口ずさみながら三人のペアで音のかけ合いを体の動きで伝え合う。
2	星空はいつも	『星空はいつも』の曲の山に向かう2フレーズと曲の山の後の4フレーズは同じ旋律であるが、表現を工夫することで、より曲の山を伝えることができることがわかる。	<p>a - a' - b - a' の形式に気付く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>歌詞を読み、a'の部分の曲想を工夫し、曲の山を盛り上げる演奏をしよう。</p> </div> <p>歌詞を読み、a'の部分の表現を考える。願いたいグループに分かれ、表現を工夫する。お互いの表現を聴き合い、感想を交流する。クラスの作品として曲想をまとめて完成する。</p>	イ 2・4 フレーズの快いと感じる拍の流れや強弱、速度をいろいろと試しながら、曲想に合った演奏を工夫している。	観察 ・歌詞や曲の構成をもとに a' の曲想表現を工夫し、自分の考えを楽譜の中に書き込んだり、グループの仲間に話したり、演奏で示したりする姿から評価する。	a' をクレシェンドやデクレシェンド、rit. などをつけて、まずは小さな声で歌ってみる。そして、どれがよいかを選ぶ。
3	木星	情景を想像しながら『木星』を聴き、『火星』と聴き比べながら、主な旋律の反復や変化・調性・旋律と旋律とのかわり合いの美しさなどを感じ取ることができる。	<p>曲名を伏せて『木星』を聴き、自分の想像した情景を書いたり、発表したりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>旋律の変化や重なり、音の響きにこだわって聴きながら、作曲家のイメージした情景を想像しよう。</p> </div> <p>作者のつけた副題を意識しながら、旋律の動きや重なりの変化を聴く。曲名・副題を伏せて『火星』を聴き、『木星』と比べながら旋律の変化を聴き、情景を思い浮かべる。</p>	イ 主な旋律を口ずさみながら、旋律の変化や重なりを聴き、旋律がだんだん高くなっていく広がりや長調の明るい響きを感じ取り、壮大な雰囲気を感じ取っている。	学習カード、発言 ・学習カードや発言の中で、旋律の音の高さや音が重なっていく部分、長調などの要素と関わらせて情景をイメージしている言葉から評価する。	主な旋律が出てきたところで合図をし、その部分の変化に注意して聴く。

4	銀河鉄道の歌	<p>『銀河鉄道の夜』の話を読み、情景を思い浮かべながら、『銀河鉄道の歌』の1番と2番の場面の違いを感じ取って歌うことができる。</p> <p>『銀河鉄道の夜』の話を読み、物語のイメージをもつ。 『銀河鉄道の歌』を聴く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>『銀河鉄道の歌』の歌詞の表す情景を具体的にイメージしながら、1番と2番の違いを感じ取って斉唱しよう。</p> </div> <p>場面の情景をイメージし、歌詞に書き込み、交流する。 1番の地上で星空を見上げながら宇宙に夢を抱いてわくわくする気持ちと、2番の未知なる宇宙に不安を抱きながらも新しい出来事に期待している気持ちの違いを意識しながら表情豊かに歌う。</p>	ア	<p>1番の「見上げれば」「青くはるか」という言葉と2番の「星めぐり」「窓のそばに」という言葉の違いに目をむけ、見上げている感じと目の前の美しさを感じる表情を意識しながら歌っている。</p>	<p>観察 ・「青くはるか」の部分で遠くを意識して「H」の息を長めに歌おうとしている姿から評価する。 「窓のそばに」の「ま」の母音「A」を驚いた表情で歌っている姿から評価する。</p>	<p>拡大された情景の絵を見て自分のいる場所を想像し身体表現で動きをつけて歌う。</p>
5	児童の即興的な作品	<p>『宮沢賢治の物語の世界』の中で特に表したい場面を決め、グループに分かれて音作りをし、『イーハトーヴ』の音物語作りの見通しをもつことができる。</p> <p>『宮沢賢治の物語』の中から音表現したいものを選びグループを作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>モチーフを生かして自分たちの『宮沢賢治の物語の世界』の場面を作ろう。</p> </div> <p>表現する情景や心情を確かめる。 モチーフをつくる。 響きを深める部分や効果音を入れる部分などを考えて、曲を構成していく。</p>	イ	<p>自分のイメージを具体的に語り、いろいろな音作りを積極的に試しながら、音楽の可能性に気付いている。</p>	<p>観察 ・グループの仲間に自分のイメージを詳しく語ったり、学習ノートに書いたりしながら、いろいろな音を試して合う音表現を見付けている姿から評価する。</p>	<p>「大きさ・広さ・明るさ・温度」などできるだけ具体的な情景や心情をイメージし、今まで経験している身近な楽器を使って例を示しながら、思いを深めていく。</p>
6	児童の即興的な作品	<p>グループでつくった『宮沢賢治の物語の世界』の場面の音楽表現を発表し合い、楽曲を特徴付けているリズム・旋律・強弱・音色・和声・調性、そして音の組み合わせな</p> <p>『銀河鉄道の歌』を斉唱する。 グループ発表会に向けて、一通り練習する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>各グループが創った『宮沢賢治の物語の世界』の演奏を聴き合い、イメージが伝わってくる方法を考え、自分たちの演奏に取り入れてインパクトのある表現を完成させよう。</p> </div> <p>グループ発表を聴き、イメージに合う表現になっていた部</p>	エ	<p>イメージする物語の情景を具体的にもち、旋律の動きやリズム・旋律・強弱・音色・和声・調性、そして音の組み合わせといった要素にこだわって聴いてい</p>	<p>観察 ・自分がこだわる要素を決めて鑑賞し、いくつかのグループ作品を比べながら、まとめている感想から評価する。</p>	<p>イメージする情景を「明るい・暗い」「楽しい・寂しい」などと具体的に考え、音楽の諸要素との結びつきを考える。</p>

		どの要素が関連しあって曲想と深く結びつきながら音楽全体の美しさを生み出していると感じ取ることができる。	分の感想を交流する。 楽曲を特徴付けているリズム・旋律・強弱・音色・和声・調性、そして音の組み合わせなどの要素とイメージする世界との関連をまとめる。 各グループごとにイメージをより伝えるため表現を工夫し合う。	る。		
7	児童の即興的な作品	各グループごとにつくった『宮沢賢治の物語の世界』をつなぎ、演奏の始まりと終わりの息遣いや表情を合わせて、クラスの『宮沢賢治のイーハトーヴの世界』を完成することができる。	各グループが創った『宮沢賢治の物語の世界』を組み合わせ、クラスで『宮沢賢治のイーハトーヴの世界』を表す見通しを持つ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">みんなの演奏を組み合わせ、クラスで、『宮沢賢治のイーハトーヴの世界』を完成しよう。</div> 演奏の順番を決める。前後のグループの演奏の出だしと終わりのつなぎ方を工夫しあう。全体を通して演奏し、感想を交流しあう。	ウ 演奏の出だしと終わり方を合わせるために、イメージする音楽に合う息遣いでタイミングを取り、音に集中して演奏している。	観察 ・これから演奏する音楽の速さや強さや気持ちを伝える息遣いができている姿から評価する。	演奏を始める前に自分たちの音楽を口ずさむ。
8	銀河鉄道の歌	クラスで創作した『宮沢賢治のイーハトーヴの世界』を聴き、イメージしたことをもとに、『銀河鉄道の歌』に込めたい気持ちを整理して、前半部分を、フレーズを意識しながら、ゆったりと声の響きを保って斉唱し、神秘的な宇宙の情景に浸ることができる。	『銀河鉄道の歌』を斉唱する。 クラスでつくった『宮沢賢治のイーハトーヴの世界』の感想を振り返り、『銀河鉄道の歌』の表現を工夫する願いをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">『銀河鉄道の歌』に込められた神秘的で魅力的な宇宙の様子を、前半部分の美しい斉唱にこめよう。</div> 【速さ・抑揚】【強弱】【フレーズ・ブレスのつなぎ方】【言葉の発音・声の響き】のコーナーをまわり、自分のこだわりたい表現を試しながら、歌い方を練習する。 コーナーで見つけてきた自分の願いを発表し合い、表現をまとめる。 半分に分かれて、前半部分の斉唱を聴きあい、情景を思い浮かべる。	ア 前半部分の歌詞の情景にこだわり、神秘的な表現につながる歌い方を【速さ・抑揚】【強弱】【フレーズのつなぎ方】【言葉の発音・声の響き】にこだわって意欲的に練習し、跳躍した音の母音を柔らかな響きで気持ちよく歌っている。	観察 ・楽譜に書いた願う表現に向かって、試している演奏から評価したり、表現が願いにより近づくように、母音の口形に目を向けて指導したときに表現が高まったことを実感している表情から評価する。	「透き通る」や「見上げれば」などの具体的な情景を言葉で表して、それを自分の感覚に合う表現を見つけるためいろいろな要素を意識した歌い方を試している児童を紹介する。

<p>9 本時</p> <p>銀河鉄道の歌</p>	<p>クラスで創作した『宮沢賢治のイーハトーヴの世界』からイメージした温かい世界を、『銀河鉄道の歌』に生かして表現するために、後半部分の大きなフレーズを意識し、その盛り上がり表現することができる。</p>	<p>『銀河鉄道の歌』を斉唱する。前々時に、クラスでつくった『宮沢賢治のイーハトーヴの世界』を聴いたことを思い出して、『銀河鉄道の歌』に込めたい気持ちを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>『銀河鉄道の歌』の後半部分の表現を工夫して、音物語のまとめとしての曲の盛り上がり表現しよう。</p> </div> <p>自分のこだわりたい表現を試しながら楽譜に書き込む。 【速さ・抑揚】【強弱】【フレーズ・プレスをつなぎ方】【言葉の発音】のコーナーを選んで練習する。 練習の成果を発表し合い、クラスの合唱をまとめる。</p>	<p>ウ</p> <p>歌詞の情景にこだわり、神秘的な表現につながる歌い方を【速さ・抑揚】【強弱】【フレーズ・プレスをつなぎ方】【言葉の発音】にこだわって工夫し、4フレーズ目から5フレーズ目を大きなフレーズとして感じ取り、アウフタクトの言葉を丁寧に歌っている。</p>	<p>観察</p> <p>・4フレーズから5フレーズを一つのフレーズとして歌っている歌唱表現から評価する。</p>	<p>『星めぐり』をイメージし、「星の世界を」の部分のように歌うかを工夫をする。</p>
<p>10</p> <p>星空はいつも</p> <p>銀河鉄道の歌・児童の即興的な作品</p>	<p>『星空はいつも』の三部合唱奏と『銀河鉄道の歌』の間にクラスで創作した『宮沢賢治のイーハトーヴの世界』の演奏をはさみ、『音物語』を完成し、それぞれの曲の気分を味わいながら演奏し、温かい心ふれあいを感じとることができる。</p>	<p>『星空はいつも』を三部合唱奏する。 『銀河鉄道の歌』を斉唱する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>二つの曲とクラスの『宮沢賢治のイーハトーヴの世界』の即興的な演奏とつないで、いろいろな情景を思い浮かべながらの音物語を演奏しよう。</p> </div> <p>宮沢賢治が物語を通して訴えた『イーハトーヴの世界』を振り返りながら、自分たちが音物語の全体の流れの中で表そうとしている情景を確かめる。 全体をつないで演奏する。 『星空はいつも』『宮沢賢治のイーハトーヴの世界』『やまなし12月』『やまなし5月』『セロ引きのゴーシュ』『注文の多い料理店』『銀河鉄道の夜』『銀河鉄道の歌』感想を交流しあう。</p>	<p>工</p> <p>合唱奏・斉唱・小アンサンブルなどのいろいろな演奏形態の音楽を楽しみながら演奏し、旋律の反復や変化・対照、調性などを取り取って聴いている。</p>	<p>観察、発言</p> <p>・仲間が演奏する音楽の情景をイメージしながらじっくりと聴いている様子や、感想の発言内容から評価する。</p>	<p>自分の好きな音楽表現をしているグループの演奏の情景を思い出して、近くの仲間と確かめる。</p>

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

- ・クラスで創作した『宮沢賢治のイーハトーヴの世界』からイメージした温かい世界を、『銀河鉄道の歌』に生かして表現するために、後半部分の大きなフレーズを意識し、その盛り上がり表現することができる。

(2) 本時の位置 9 / 10 時

(3) 展開案

過程	学習過程	評価について	指導・援助
つ か む	<p>1 『銀河鉄道の歌』を斉唱する。</p> <p>2 前々時に、クラスでつくった『宮沢賢治のイーハトーヴ世界』の音楽を聴いたことを思い出して、『銀河鉄道の歌』に込めたい気持ちを確認する。</p>		<p>言葉の始めの子音をはっきりと歌い、歌詞の表す情景に目を向ける。</p> <p>前々時、クラスでつくった『宮沢賢治のイーハトーヴの世界』を聴き合った感想を提示し、「ぼわっと神秘的」という児童の言葉を提示する。</p> <p>各グループの演奏と『銀河鉄道の歌』とをつないで一つの作品をつくる見通しをもつ。</p>
/ 高	<p>『銀河鉄道の歌』の後半部分の表現を工夫して、音物語のまとめとしての曲の盛り上がり表現しよう。</p>		
め る	<p>3 自分のこだわりたい情景をどのように表現したいか、口ずさみながら楽譜に書き込む。</p> <p>4 自分の目指す表現にこだわってコーナーを選び、練習する。 【速さ・抑揚】 少しせき込んで歌ったりたっぷりと歌ったりする部分を考える。</p> <p>【強弱】 クレシェンド・デクレシェンドをつける。</p> <p>【フレーズ・ブレスのつなぎ方】 8小節で一つの大きなフレーズを感じ取って、間のブレスをつなぐようにとる。</p> <p>【言葉の発音】 「星のかなた」の「ほ」の「O」の響きや「闇のかなたの」の「や」の「A」の柔らかい音の響きを情景からイメージした表情でつくる。</p>	<p>ウ - 歌詞の情景にこだわり、神秘的な表現につながる歌い方を【速さ・抑揚】【強弱】【フレーズ・ブレスのつなぎ方】のどれかにこだわって工夫し、4フレーズ目から5フレーズ目を大きなフレーズとして感じ取り、アウフタクトの言葉を丁寧に歌っている。</p> <p>観察 ・4フレーズから</p>	<p>「列車が近づく様子」や「闇のかなたの星の世界の様子」・「旅へいざなう気持ち」などを、自分のイメージに合う表現を見付けるため、いろいろな要素を意識した歌い方を試している児童を価値付ける。</p> <p>自分の楽譜に書き込んだことを意識したり、日頃の自分の歌唱表現へのこだわりをふり返ったりして、自分のよさが発揮できるコーナーを選択させる。</p> <p>『星めぐり』をイメージし、どのコーナーでも「星の世界を」の部分の歌い方は、諸要素にこだわって工夫をするよう働きかける。</p> <p>1番の「星の世界の旅へいざなう」と2番の「闇のかなたの星をめざす」の情景の違いと気持ちの変化をコーナーごとの曲想表現に生かすよう呼びかける。</p> <p>自分の工夫する曲想表現にこだわって何回も歌って試しながら心地よい表現を選ぶよう助言する。</p>

<p>/</p> <p>ま</p> <p>と</p> <p>め</p> <p>る</p>	<p>5 練習の成果を発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアにそれぞれ歌ってみせる ・お勧めの表現を発表する。 <p>6 クラスの合唱をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『銀河鉄道の歌』の後半部分はクラスの音物語のまとめとして締めくくりとなることを意識して、「星の世界の」と「闇のあなた」の部分を豊かな響きで歌う。 	<p>5フレーズを一つのフレーズとして歌っている歌唱表現から評価する。</p>	<p>一人一人が見付けてきた【速さ・抑揚】【強弱】【フレーズ・ブレスのつなぎ方】【言葉の発音】を全体で確認する。</p> <p>4フレーズ目から5フレーズ目のつながりが感じられるよう、引っぱるような丁寧なブレスの取り方・母音の口形をつなぐ・体の動きや表情でつなぐ意識を伝えるなど、5の段階で交流して学んだことを歌いながら確かめ、音楽表現が高まったことを味わえるようにする。</p>
--	---	---	--

5 評価の実際と個に応じた指導事例

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

評価規準<ウ - >

歌詞の情景にこだわり、神秘的な表現につながる歌い方を【速さ・抑揚】【強弱】【フレーズ・ブレスのつなぎ方】【言葉の発音】のどれかにこだわって工夫し、4フレーズ目から5フレーズ目を大きなフレーズとして感じ取り、アウフタクトの言葉を丁寧に歌っている。

(2) 評価の実際

評価の方法

観察

- ・4フレーズから5フレーズを一つのフレーズとして感じて歌っている姿から評価した。

判断の事例

Cと判断

- ・4フレーズから5フレーズにかけての大きなフレーズは感じ取っているものの、間のブレスのとりかたがうまくいかず、ポツと切ってしまうたり、5フレーズの頭の言葉を乱暴に歌ってしまったりしている児童をCとした。

Aと判断

- ・4フレーズから5フレーズにかけての大きなフレーズを感じ取り、【速さ・抑揚】【強弱】【フレーズ・ブレスのつなぎ方】【言葉の発音】のそれぞれのこだわりの中で、1番と2番の歌詞の表す情景内容から、その違いを感じ取った歌い方をしている児童をAとした。具体的には、1番をクレシェンドでだんだんゆっくりと盛り上げ、5フレーズの始めの「H」にフォルテでたっぷりとする歌い方。2番は、同じようにクレシェンドして盛り上げていくが、「闇の世界の」の部分で、未知なる世界への一瞬の不安感を潜んだ感じで歌っている。但し、音楽のエネルギーは最後の「星をいざなう」に向かってより大きくなっていることが伝わる表現でなければならない。

(3) 個に応じた指導の実際 (Cと判断される状況への働きかけ)

【速さ・抑揚】

- ・自分の中でイメージする抑揚がはっきりと感じ取れない場合は、仲間の歌い方の中でいいと思うものを選び、まねをするように助言した。

【強弱】

- ・息の量をたっぷりと増やしていく歌い方や4フレーズから5フレーズにかけてブレス無しで歌った時の感覚をつかむことを指導・援助した。

【フレーズ・ブレスのつなぎ方】

- ・4フレーズから5フレーズを一つのまとまりとじて歌う表現を指揮をふりながら一緒に試し、選択するように問い掛けた。間のブレスでポツと切れてしまう児童には、4フレーズから5フレーズにかけてブレス無しで歌った時の感覚を意識するよう助言した。

【言葉の発音】

- ・特に4フレーズ目から5フレーズ目の「SE HO」の母音のつながりを大切にしたいと指導した。グループの仲間も、一つ一つの口形や眉毛の高さを真似したり、子音の発音を確かめたりしながら熱心に取り組んでいたため、そのがんばりを認め励ました。

【全体】

- ・ 8分の6拍子の流れによって軽く体を動かすとよいことと、指揮をしながら4フレーズから5フレーズにかけての音楽の流れを大きく取ることを示した。全員の集中力がピーンと張りつめていて、ほとんどの児童は、その流れの中で盛り上がりを感じ取って歌うことができた。
- ・ どうしても5フレーズ目の出だしの言葉が乱暴になってしまう児童には、2番の表現を不安げな歌い方に工夫していた【強弱】グループの歌い方を参考にするよう助言した。5フレーズ目の始めの部分で一瞬息を潜めるように呼びかけたところ、その言葉を丁寧に意識して歌うことができるようになった。

6 参考資料
<資料1>

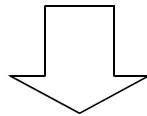
『銀河鉄道の歌』音物語～

6年 組 ()

富沢賢治の物語の世界を音楽で表そう

物語の題名

特に心に残っている場面...感じたこと思ったこと



同じ物語同士でのグループの仲間と相談して表す場面

グループの仲間と工夫しあって、音楽をつくってみた感想
(気に入っているところ・工夫したところ)

A large empty rectangular box with a dashed border, intended for writing reflections on the group's music-making experience.

他のグループのちがう物語の音楽を聴いた感想(心に残った印象)

A large empty rectangular box with a dashed border, intended for writing reflections on listening to music from other groups.

みんなの歌と物語の音楽をつないで、作品として完成した感想

A large empty rectangular box with a dashed border, intended for writing reflections on completing a work by combining everyone's songs and stories.